第八次宮崎県農業・農村振興長期計画

持続可能な魅力ある みやざき農業の実現

日本の
ひなた
宮崎県

令和3年3月

宮崎県

あなたと共に次世代につなぐ持続可能な魅力あるみやざき農業の実現を目指して

本県農業は、台風被害を回避する営農方式を目指して、昭和35年にスタートした「防災営農計画」による畜産や施設園芸など、収益性の高い多様な農業の生産振興を原点に、みやざきブランドやフードビジネス振興等の時代を先取りする取組を展開し、全国第５位の農業産出額を誇る食料供給産地へと発展してきました。

また、県外から所得を呼び込む基幹産業として、食品をはじめ、観光や物流、情報通信など幅広い産業と結びつき、県内の経済振興や雇用創出に大きく貢献するとともに、県土や自然環境を保全し、世界農業遺産に代表される農山村の伝統文化を育むなど、本県の社会・経済において極めて重要な役割を担っています。

このような中、近年、農業を取り巻く情勢は厳しさを増しており、農業従事者の減少・高齢化の急速な進行により、生産基盤の脆弱化や集落の衰退が現実のものとなりつつあります。

更には、地球温暖化による記録的な豪雨や植物病害虫の発生増加、火山噴火や地震などの大規模自然災害に加え、県内全域に甚大な影響を及ぼした口蹄疫などの家畜伝染病といった様々なリスクに直面しています。

その一方で、デジタル技術が急速に発展する中、ＩＣＴ・ＡＩ・ロボティクスなどの先端技術を駆使したスマート農業など、新技術の社会実装による生産性の向上や、農業と他の仕事を組み合わせた働き方である「半農半Ｘ」や「ワーケーション」といった新たな動きもみられます。

私は、大きな時代の転換期にある今こそ、厳しい現状やあらゆるリスクに対する危機感を共有するとともに、最先端の技術や新たな価値を積極的に取り込みながら、本県農業を次世代へ繋げるという強い使命感と責任感を持ってチャレンジしていくことが重要であると考えています。

このため、今回策定した「第八次農業・農村振興長期計画」では、あらゆる危機事象に負けない農業を目指す「新防災」の観点を本県農業・農村振興の土台に据えながら、賢く稼げる農業の実現に向けて、生産性の向上に加え、物流の効率化、多様な販売形態への対応など、生産・流通・販売に関する施策を連鎖的に展開する「スマート化」を図ります。これらの取組については、経営規模の大小や個人・法人の別を問わない家族を中心とした「みやざき型家族農業」を核に、農業者のみならず、県民の皆様を含むオール宮崎の総力戦で推進していきたいと考えております。

令和２年１月以降、世界を一変させた新型コロナウイルス感染症は、農畜産物の価格低下やサプライチェーンの混乱など、農業にも深刻な影響をもたらしています。他方で、田園回帰の流れや応援消費を通じた消費者が生産者を支える機運が高まるなど、様々な価値観が変容する中、私たちが生きていく上で欠かすことのできない食の重要性を改めて考えるきっかけにもなっています。

ＳＤＧｓの考え方が世界に広がりを見せ、脱炭素社会の実現など環境に対する関心や、食料の安定供給に関する意識が国内外で高まっている中、「いのちと暮らし」を支えるかけがえのない本県の農業・農村の価値や重要性を県民の皆様とも共有しながら、未来の世代につながる「持続可能な魅力あるみやざき農業」の実現を目指してまいります。

終わりに、この計画の策定に当たりまして、御協力いただきました宮崎県農政審議会の皆様方をはじめ、各地域における意見交換会等で貴重な御意見を賜りました多くの方々に厚くお礼を申し上げます。

令和３年３月

宮崎県知事　河野俊嗣

令和３年２月　宮崎県農政審議会

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画

目 次

＜ 序 ＞ 計画の策定にあたって p1 ～

1 計画策定の趣旨 …… 1
2 計画の性格と役割 …… 2
3 計画の構成 …… 2
4 計画の期間 …… 3
5 策定方法 …… 3
6 計画の全体構成 …… 4
7 計画の概要 …… 5
8 農業・農村振興長期計画の変遷 …… 7

＜第１編＞ 長期ビジョン p8 ～

第１章 みやざき農業の現状

1 本県農業の生産力 …… 9
2 農業経営体・農業従事者の推移 …… 11
3 農地の利用状況の推移 …… 12
4 県内産業におけるみやざき農業の位置づけ …… 13
5 県内雇用情勢の推移 …… 14

第２章 社会情勢の変化と時代の潮流

1 人口減少・少子高齢社会の到来 …… 15
2 グローバル化の進展、輸入資源の状況 …… 16
3 消費・販売の動向 …… 18

第３章 危機事象の発生と対応

1 地球温暖化と気象災害の状況 …… 19
2 火山・地震災害の発生と対応 …… 20
3 新型コロナウイルス感染症の発生と今後の取組 …… 21
4 家畜伝染病の発生と対応 …… 24
5 植物病害虫の発生と対応 …… 26

第４章 農業政策をめぐる動向

1 農業政策の動き …… 27
2 科学技術政策の動き …… 29
3 国連の取組 …… 30

第５章　計画の目標と目指す将来像

1　計画の目標 …… 31
2　目指す将来像と３つの視点 …… 35
（1）“農の魅力を産み出す”人材の育成と支援体制の構築
①　次代を担うみやざきアグリプレーヤーの確保・育成 …… 37
②　産地サポート機能を有する新たな体制の構築 …… 39
（2）“農の魅力を届ける”みやざきアグリフードチェーンの実現 …… 41
①　スマート生産基盤の確立による産地革新 …… 43
②　産地と流通の変革を生かした販売力の強化 …… 45
③　産地とマーケットをつなぐ流通構造の変革 …… 47
（3）“農の魅力を支える”力強い農業・農村の実現
①　次世代に引き継ぐ魅力あふれる農山村づくり …… 49
②　持続的で安全・安心な農業・農村づくり …… 51

第６章　農業構造展望と農業生産の目標

1　農業構造の展望
（1）農業経営体の展望 …… 53
（2）農業生産人口の展望 …… 54
（3）耕地面積の展望 …… 54
（4）本県農業の生産構造の展望 …… 55
2　農業生産の目標
（1）作付（栽培）面積・飼養頭羽数及び主要品目の生産量 …… 57
（2）農業産出額 …… 58

＜第２編＞　基本計画　p60 ～

第１章　施策の体系 …… 61

第２章　施策の具体的な展開方向

1　“農の魅力を産み出す”人材の育成と支援体制の構築
（1）次代を担うみやざきアグリプレーヤーの確保・育成
①　新規就農・参入支援によるプレーヤーの確保 …… 63
②　多様な研修によるプレーヤーの育成 …… 64
③　女性農業者や青年農業者が活躍できる環境づくり …… 65
④　高齢農業者が生きがいを持って元気に活躍できる環境づくり …… 66
（2）産地サポート機能を有する新たな体制の構築
①　産地サポート機能を発揮する地域調整体制の構築 …… 67
②　技術・経営資源の円滑な承継 …… 68
③　多様な雇用人材の確保・調整 …… 69

2 “農の魅力を届ける”みやざきアグリフードチェーンの実現
アグリフードチェーン司令塔体制の構築 …… 70
（1）スマート生産基盤の確立による産地革新
① スマート農業の普及・高度化 …… 71
② 効率的な生産基盤の確立 …… 72
③ 分業による生産体制の構築 …… 73
④ 安定した生産量の確保 …… 74
⑤ 産地加工機能の強化 …… 75
⑥ 産地革新を進める試験研究・普及の強化 …… 76
（2）産地と流通の変革を生かした販売力の強化
① 共創ブランディングの展開 …… 77
② 食資源の高付加価値化に向けた取組の強化 …… 78
③ 世界市場で稼ぐ戦略的輸出体制の整備 …… 79
（3）産地とマーケットをつなぐ流通構造の変革
① 物流の効率化と供給機能の強化 …… 80

3 “農の魅力を支える”力強い農業・農村の実現
（1）次世代に引き継ぐ魅力あふれる農山村づくり
① 地域の多様な人材が協働して稼げる体制の強化 …… 81
② 集落の魅力を発揮し未来につなげる農山村づくり …… 82
（2）持続的で安全・安心な農業・農村づくり
① 資源循環型産地づくりとエネルギー転換の推進 …… 83
② 災害に強く持続可能な生産基盤の確立 …… 84
③ 家畜防疫体制の強化 …… 85
④ 植物防疫体制の強化 …… 86
⑤ 安心して営農できる農業セーフティネットの強化 …… 87
⑥ 環境に優しい農業の展開 …… 88
⑦ 食料・農業・農村に対する県民の理解醸成 …… 89

第３章　品目・畜種別の具体的な展開方向

1 米 …… 90
2 施設野菜 …… 91
3 露地野菜 …… 92
4 花き …… 93
5 果樹 …… 94
6 茶 …… 95
7 その他の作物 …… 96
8 肉用牛 …… 97
9 酪農 …… 98
10 養豚 …… 99
11 養鶏 …… 100
12 その他家畜 …… 101
13 飼料作物 …… 102

第４章　農業経営モデル

1　農業経営モデルの意義・目的 …… 103
2　農業経営モデルの考え方（方向性）…… 103
3　農業経営モデル活用上の留意点 …… 104
4　品目・畜種別経営モデル
（1）施設野菜
①　スマート化モデル ……105　②　法人化モデル ……106
（2）露地野菜
①　スマート化モデル ……107　②　法人化モデル ……108
（3）肉用牛
①　スマート化モデル ……109　②　法人化モデル ……110

＜第３編＞　地域別ビジョン　p112～

第１章　基本的な考え方

1　策定の目的 …… 113
2　地域区分 …… 113
3　推進体制 …… 113

第２章　地域別ビジョン

1　中部地域 …… 115
2　南那珂地域 …… 117
3　北諸県地域 …… 119
4　西諸県地域 …… 121
5　児湯地域 …… 123
6　東臼杵地域 …… 125
7　西臼杵地域 …… 127

＜第４編＞　計画実現に向けた推進体制　p130～

1　役割分担 …… 131
2　計画の推進体制 …… 132

＜資料編＞　参考資料　p134～

1　主な用語 …… 135
2　基本計画とＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の関係 …… 145
3　第八次宮崎県農業・農村振興長期計画の策定経過 …… 147
4　宮崎県農政審議会審議員名簿 …… 149
5　第八次宮崎県農業・農村振興長期計画の策定体制 …… 150